

議 事 録

1. 会議の名称 第4回 池田市幼児教育審議会
 2. 開催日時 平成29年5月10日(水)
午後1時～午後2時
 3. 開催場所 池田市役所 5階府大会議室
 4. 出席者
 《委員》8名 ※会長：◎ 副会長：○
 ◎青木委員、○藤原委員、東平委員、加藤委員、
 坂上委員、北谷委員、長濱委員、藤井委員

 《事務局》12名
 亀井管理部長、齋藤教育部長、梶原管理部次長、西
 山教育部次長兼教育センター所長、荒河人権教育監
 兼学校教育推進課長、鈴木教育政策課長、大谷教職
 員課長、塚原総務・学務課長、光武総務・学務課主
 幹、中山総務・学務課副主幹、吉川総務・学務課副
 主幹、住野総務・学務課主任主事

 《関係部局》4名
 岡田子ども・健康部次長、藤井子ども・健康部次長
 兼子育て支援課長、五十嵐子ども・若者政策課長、
 小林なかよしこども園長
 4. 議 題 答申案の内容について
 5. 議事経過 別紙のとおり
 6. 公開・非公開の別 公開
 7. 傍聴者数 1名
 8. 問合せ先 池田市教育委員会 管理部総務・学務課
(072) 752-1111 内線425・426
(072) 754-6291 (ダイヤルイン)
E-mail k-somu@city.ikeda.osaka.jp
-

第4回池田市幼児教育審議会 議事録

日時：平成29年5月10日(水) 午後1時～午後2時

場所：池田市役所 5階府大会議室

1. 開会
2. 答申案の内容について
3. 閉会

【会長】

前回、答申をまとめるに当たって各委員から様々な意見をいただいた。それらをまとめた答申案を本日お配りしているので、ご確認いただきたい。内容としてはまず、池田市における幼児教育の現状、そして市立ひかり幼稚園および市立なかよし幼稚園の認定こども園化についてとその定員変更について、さらに今後の幼児教育全体のあり方についてまとめている。

本答申を教育委員会に提出する前に内容についてさらに精査をしていきたいと思う。ご意見ご質問を伺いたい。

【委員】

「終わりに」の部分について早期保育という言葉が使われているが、就学前の3年保育のことを指しているのか、赤ん坊からの教育を早期保育と呼んでいるのか、単語の中で「早期保育」と総称してしまうと、どこからの教育が早期保育なのか誤解される方もいるのではないかと。私立幼稚園の立場としてこの表現はどうか。

【委員】

こちらに表記されているのは、私立幼稚園ですでに済み、と明記されており、3年保育について指しているのはわかるので、これくらいの表現でいいと個人的に思う。

【委員】

全体を通して感想を述べさせていただく。諮問にあったのは、市立ひかり幼稚園と市立なかよし幼稚園を認定こども園化することについてということであり、うまくまとまっていると言える。1つ目は、答申の中の認定こども園の特徴「保護者の就労状況が変わっても、通いなれた園を継続して利用できる」を明記することで、認定こども園化にあたって、今後も起こり得る保護者のニーズを汲み取っていると言える。2つ目は定員数の変更についてだが、「認定こども園化にあたって国の定める設置基準に則していくと、定員変更はやむを得ないが、教育委員会として、幼児期の教育・保育にふさ

わしい環境を整え、子どもの発達に応じた質の高い教育・保育の提供を求めつつ、保育ニーズや就園希望などを考慮した上で、適正な定員数を検討していくべき」と明記されているので、私たちの意図が明確にまとまっていると言える。

【会長】

それでは、本件を受け、答申内容を完成させ、教育長からの諮問に対する、答申を会長の私に一任していただけますでしょうか。

＜異議なし＞

それでは、当審議会を代表して本案件を提出させていただきます。

各委員さんにおかれましては、これまでの4回の審議会に対し慎重審議いただきありがとうございました。これにて、今回の幼児教育審議会につきましては全て閉会とさせていただきます。

以上